

2023年7月14日

報道機関 各位

ナガサキ・ユース代表団による記者会見及び 学長表敬・知事表敬・市長表敬の実施について

この度、長崎県、長崎市、長崎大学の3者で構成する「核兵器廃絶長崎連絡協議会」が主催する人材育成プロジェクト「ナガサキ・ユース代表団第11期生」の7名が、オーストリア・ウィーンで開催される「2026年核不拡散条約再検討会議に向けた第1回準備委員会」に参加します。

現地ではサイドイベントの開催を予定しており、詳細は添付のとおりです。（情報解禁は会見後の7月21日14時でお願いします。）

ウィーンへの渡航にあたり、第11期生は、核兵器廃絶長崎連絡協議会の顧問である大石賢吾長崎県知事、鈴木史朗長崎市長、河野茂長崎大学長を表敬訪問し、また記者会見で現地における活動についてご説明いたしますので、下記のとおりご案内申し上げます。

記

【市長表敬】 令和5年7月21日（金）9時00分～9時15分
場所：長崎市役所第2応接室

【知事表敬】 令和5年7月21日（金）9時45分～10時00分
場所：長崎県庁4階特別応接室

【学長表敬】 令和5年7月21日（金）13時00分～13時15分
場所：長崎大学事務局2階第3会議室

【記者会見】 令和5年7月21日（金）13時20分～14時00分
場所：長崎大学事務局2階第3会議室

出席者： ナガサキ・ユース代表団第11期生（7名）
調 漸 核兵器廃絶長崎連絡協議会会長
吉田文彦 RECNA センター長
河合公明 RECNA 副センター長

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

核兵器廃絶長崎連絡協議会事務局

TEL 095-819-2255 E-mail pcu_nc@ml.nagasaki-u.ac.jp

プレスリリース添付資料 1
2023 年 7 月 14 日
ナガサキ・ユース代表団 11 期生

ナガサキ・ユース代表団 11 期生による

NPT 再検討会議準備委員会サイドイベントについて

WRITING PEACE

—Uniting People through Nagasaki and Japanese Calligraphy—

1. 概要

私たち、ナガサキ・ユース代表団第 11 期は、2023 年 7 月 31 日から 8 月 11 日にかけて行われる 2026 年 NPT 再検討会議第 1 回準備委員会に参加し、サイドイベント“Writing Peace—Uniting People through Nagasaki and Japanese Calligraphy—”を開催する。本イベントは、イントロダクション、交流、まとめからなる 3 部で構成され、交流では、参加者は長崎の学生と平和への想いを語り合い、書道を通じて想いを表現し、想いの共有を通じて相互理解を図る。代表団は、このイベントをウィーン訪問前後にも実施し、参加者の想いを動画にまとめる。作成した動画は 8 月に長崎で行われる活動報告会において上映する予定である。ナガサキ・ユース代表団第 11 期は、このイベントが、参加者が長崎の人々の想いや他の参加者の想いを知る機会となること、さまざまな立場の人々につながり、その距離を縮めたいと願っている。

2. 大綱

- イベント名：Writing Peace—Uniting People through Nagasaki and Japanese Calligraphy
- 日時：8 月 3 日（木）13:15-14:45 (CEST)
- 場所：会議室 M4 (Vienna International Center)

- 主催：ナガサキ・ユース代表団 11 期
- 内容：参加者は、長崎からの学生と平和に関する想いを語り合い、その想いを文字に書き表す。その後、参加者からのメッセージを動画収録する。その動画を編集し、8月28日に長崎で開催する報告会にて発表する。

3. 趣旨

ナガサキ・ユース代表団 11 期は、「長崎を最後の戦争被ばく地に」という想いのもと活動し、このメッセージを、世代、国境を越え、皆で共有したいと考え、多様な人々と交流してきた。その出会いの中で、「平和」に関する多様な考えが混在していることを学んだ。

核兵器のない世界を真剣に目指す人がいる一方で、現状維持が最適であると論ずる人もいる。そもそも、戦争や核兵器の有無が平和に関わるわけではなく、明日の食糧が保証されていることが平和に関わると考える人もいる。

このような多様な平和を、まず理解しなければ、自分たちの想いを長崎から世界の多様な人々に「伝える」ことは難しいと感じた。代表団の 7 名は、多様な人々と「繋がる」ことが大事だと考えるようになった。

そこで、ナガサキ・ユース代表団 11 期は、日本の伝統であり、誰もが手軽にできるコミュニケーションの方法を考えた結果、書道という手段を選択し、多様な人に「伝える」ために多様な人々と「繋がる」ための本イベントを企画した。

4. 方法

書道は、文字を書く要素に加えて芸術という要素を含んでいる。筆跡を用いて個人を特定できるほど、文字には個性が存在する。文字を書くことは、その人の性格、感情、思考といった他人からは見えない部分を表に出す自己表現である。芸術は人を引き寄せ、人の心を動かし、人を結ぶという力がある。この書道のもつ力は、世界中の様々な立場にいる人の想いを知りたい、繋げたい、広げたい、という私たちの思いを実現するものだと考える。

5. プログラム

第1部

イントロダクション (20分)

- 開会の挨拶および説明 (ナガサキ・ユース代表団第11期)
- スライド発表：「長崎を最後の戦争被ばく地に」—今を生きる被ばく地長崎の若者として

第2部

Writing Peace—Uniting People through Nagasaki and Japanese Calligraphy— (50分)

- アイスブレイク
- 平和について話し合う
- 「あなたにとって平和とは」を書道で表現 (参加者は実際に文字を書く)
- 「あなたにとって平和とは」を動画で収録 (参加者の声を録画する)

第3部

終わりに (15分)

- 来賓の言葉 (検討中)
- ナガサキ・ユース代表団第11期からのメッセージ
- 核兵器廃絶長崎連絡協議会会長の言葉 (調 漸 会長)

6. ナガサキ・ユース代表団とは

ナガサキ・ユース代表団とは、長崎県、長崎市、長崎大学の3者で構成された核兵器廃絶長崎連絡協議会が主催する人材育成プロジェクトである。2013年から、核軍縮、不拡散問題に関する国際会議への参加とその事前事後の活動を通じて、次世代を担う長崎の若者が、最新の国際情勢を学ぶとともに、この分野で活躍する世界の人々と出会い、知識を行動に結びつける力を養うことを目指している。

7. 連絡先

HP: <https://www.pcu-nc.jp/nagasaki-youth/>

Instagram: @nagasaki_youth_delegation

Facebook: nagasakiyouth

Twitter: @nagasaki_youth

Mail: 11.nagasaki.youth@gmail.com